

2017年度 事業報告書

(2017年4月1日から2018年3月31日)

特定非営利活動法人 はなはな ひろば
理事長 松村 京子

1. 事業活動報告

特定非営利活動法人 はなはなひろばは、NPO 法人として第 11 期目の活動で、2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日の 12 か月である。

期末現在の会員数は、23 名、賛助会員数は 18 名である。

期中の新規入会会員は 2 名、脱退会員 0 名である。

すでに 2015 年より、既存の活動拠点の建物が新耐震機基準に適合しないとのことで、横浜市より対策を求められていた。数多くの賃貸物件を検討してきたが、場所・間取り・広さ・家賃等、いずれも満足できるものがなく、やむを得ず建て直すこととした。

土地所有者の負担で建築に着手し、2017 年 7 月には、無事新しい建物に移転することとなった。

この間、2016 年 11 月から 2017 年 7 月初旬まで生麦 3-7-5 番地に仮りの広場を開設、不自由な中でも、5 丁目から 3 丁目に移ったことにより、新しい親子の利用ができた。

新築に伴い、建物本体については、オーナーが金銭的な責任を持ってくれることとなったが、新しいひろばにふさわしい什器備品等の調達に、クラウドファンディング（以下 CF）による募金活動を行うこととした。

募金目標金額を 60 万円と設定したが、約 140 人の賛同者による 94 万円強の結果が得られた。CF には賛同できないがひろばにと寄せられたものもあり、総額 100 万円となった。

多くの方々の文字通りの支援が得られたことは、なによりのことと感謝する次第である。

また、キリン製品を寄贈してくださった篤志家・ジャック&ベティ（映画館）・洗濯船（洋食屋）などからの支援も得られ、CF 活動の花を添える結果となった。いずれにせよ、これらの方々を始め、多くのご協力をくださったすべての人々に、深い感謝を申し上げたい。

2. 事業内容

<特定非営利活動に係る事業>

I) 親と子のつどいのひろば事業

- ・ ほっと安心できる子育てひろばとして、0 歳から未就学児とその養育者がいつでも自由に集える場の提供を目的に、月曜日から金曜日までの平日は毎日 10 時から 16 時まで、さらに偶数月の第 2 土曜日、奇数月の第 3 土曜日にも活動した。
- ・ 毎週月曜日の午前中を「赤ちゃんタイム」とし、よちよち歩きまでの子どもたちの時間帯とした。
- ・ 一時預かりではスタッフの増強や出てきた課題などについてさらに充実させるようにした。
- ・ この事業は、横浜市「親と子のつどいのひろば事業」としての委託を受けている。当期、委託金額は 7,349,000 円（うち一時預かりに関わる補助金は 1,536,000 円）。耐震補助費 1,467,000 円。

A 日常ひろば活動

利用状況は次の通りである。活動日数：236 日 利用組数：2,603 組 利用人数：5,663 人

- a) 毎週月曜日午前中の“赤ちゃんタイム”は親子が安心してゆっくり過ごせるため利用数が多くなっている。区役所と連携し、保健師さんを通して赤ちゃん訪問員の方々に積極的にひろばの宣伝ビラ（赤ちゃんタイムと一時預かりを知らせる両面ビラ）を配布してもらえ、大きな成果を上げていると思われる。時には赤ちゃんタイムに来所した親子がそのまま午後もひろばで時間を過ごし、月齢の異なる子どもたちとも交流するようになった。
- b) ホームページを見た、区役所で教えてもらった、友だちから誘われた、ひろばの前を通りがかって気になっていた、などによって来所した親子も増えた。
- c) 新しい親子が来所した時には、スタッフが他の親子に紹介し、ひろばにうちとけ易いように意識的に働きかけている。
- d) リピーターの親子が新規の利用者に声掛けをして気持ちを和ませる役割をしてくれた。

- e) ひろばを利用する親同士が情報を交換しあったり、誘い合わせて出かけるなどひろば利用以外での交流にも繋がっていた。
- f) ノロウイルスやインフルエンザなどの応急手当のためにひろば内を設備し、スタッフは即には手当てができるようその方法を身に付けた。
- g) ひろば利用者や近隣の方々からの好意で使わなくなった子供服やおもちゃ等の提供を受けた。ひろば利用者はそれらの品をひろばに常設しているフリーマーケットで有効に使っていた。

広場利用実績

	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
総開催日数	236日	237日	236日	238日	239日	240日
利用者数	5,663人	5,456人	5,354人	4,935人	5,920人	4,743人
1日平均	24.0人	23.0人	22.7人	20.7人	24.8人	19.8人

月別利用状況は以下のとおりである

月別利用状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
	利用組数		173組	179組	185組	213組	240組		265組
利用人数		394人	386人	384人	467人	525人	554人		
月別利用状況	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	利用組数	236組	242組	222組	202組	202組	244組		2603組
	利用人数	499人	521人	495人	443人	447人	548人		5663人

B イベント

年間に催したイベントは次の通りである。

日常の活動を大切にすするため、なるべくイベントの回数を抑えるようにしたが、利用者の希望もあり今年度は月に2~4回の開催となった。

- a) 1年に何回か定期的に行うイベントに、1度参加した親子が次を予定して参加するようになっていた。
- b) 生麦ケアプラザを使つてのイベントはケアプラザと協力し合いながら充実した内容にすることができた。
- c) 親が個人では聞く機会を持ちにくい就職の話(マザーズハローワーク)は具体的で参考になったと思われた。
- d) ひろばが新しくなつたため、あらためて消防署の方から防災等についての点検を受け話を聞いた。

防災訓練 1回(5組10人)	食育講座 4回(28組50人)	お花見 1回(16組42人)	ベビーマッサージ 6回(55組110人)
絵本とともだち 4回(58組125人)	11周年記念コンサート 1回(35組74人)	折り紙 1回(6組12人)	マザーズハローワーク 4回(22組45人)
英語で遊ぼう 1回(16組34人)	誕生会 12回(93組208人)	歯の話 1回(12組26人)	おやこ体操 6回(118組248人)
ロゼット 1回(10組10人)	ハロウィンバッグ 1回(5組11人)	マスク作り 1回(3組3人)	

合計 45回 (482組 1008人)

C 一時預かり

今年度の一時預かり実績は次の通りである。登録者数は3月末までに364名となっている。

- a) 預かり時のスタッフ体制は1人の子どもに対して必ず1人のスタッフを配置し、安全に細心の注意を払った。
- b) 預かり中は、通常のスタッフも積極的に預かりの子どもや担当スタッフへの気配りをした。
- c) ひろばに来ている親は、預かりがあるとその子どもに対して気持ちを寄せてくれたりした。
- d) 預かり登録数は増えつつあるが実際に利用するところまで至っていない親子もいる。他の子どもの預かりの様子を見て、自分も預けてみようという気持ちになるひともいて、ひろばとしてもっとアピールしていきたい。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	6人	6人	14人	8人	3人	5人		
総利用時間	17時間	17時間	39時間	18時間	7時間	15時間		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
利用者数	9人	14人	8人	8人	10人	15人	106人	98人
総利用時間	29時間	39時間	26時間	23時間	35時間	53.5時間	318.5時間	282時間

D おでかけひろば

- a) 2017年7月から鶴見区社協の共同事業として社協内の一室でお出かけひろばを開設した。
- b) 月2~3回、主に金曜日の午前10時~12時の2時間。
開設：23回 利用組数：92組 利用人数：194名
- c) 花月園前までは足を延ばしづらいがおでかけひろばなら通いやすいと、毎回数組の親子が来所し再来する利用者も増えつつある。

E 子育てメール相談

- a) この1年間でメール相談は増えている。守秘義務厳守のもと、相談が入った時には相談者の思いを第一とし、その相談者が納得したり気持ちが落ち着けるまで何度かメールのやりとりをした。ひろば内で解決が難しいと思われるケースでは、区役所の子育て支援課に相談した。
- b) 相談はかなり遠方からと思われるものもあった。
- c) 初めての子育てで、経験者から見ればほんの些細に思えることでも相談できる人がいなかったり自分から相談に出かけにくい中で、情報ばかりが多く不安を抱えてしまう場合も、メールでの相談ならし易いと思われた。
- d) 今まで使っていたメール相談用宣伝カードを改善する予定であったが、果たさなかったのは反省点である。

II) パソコンスタディ事業

生麦広場での活動となったこともあり、十分な宣伝活動もできず、パソコンスタディは限りなく休眠状態となった。
受講料としては、わずかに18,500円を得たに過ぎなかった。

III) その他：地域との交流

- a) 地域の商店街との繋がりを深め、商店街の活性化に何らかの協力ができた。
- b) チラシなどは配架だけでなく利用者に手渡すことで商店街の催しへの参加に繋がった。

貸借対照表

2018年3月31日 現在

特定非営利活動法人 はなはなひろば
(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,636		
預金合計	1,805,148		
流動資産合計		1,845,784	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,845,784
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		562,574	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			562,574
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-517,178	
当期正味財産増減額		1,800,388	
正味財産合計			1,283,210
負債及び正味財産合計			1,283,210

平成29年度 活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 はなはなひろば

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	128,000		
2 受取寄附金			
受取寄附金（賛助会費含む）	2,999,126		
3 受取助成金等			
受取補助金（横浜市子育て支援課）	8,816,000		
4 事業収益			
利用料、一時預かり利用料	377,100		
5 その他収益			
受取利息	12		
雑収入	243		
経常収益計			12,320,481
II 経常費用			
1 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
人件費計	5,208,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	612,137		
交際費	44,616		
公租公課	1,000		
事務用品費	60,893		
謝金	142,000		
修繕費	565,587		
消耗品費	378,305		
新聞図書費	18,016		
水道光熱費	144,302		
送金料	2,510		
諸会費	46,790		
家賃	2,088,000		
賃借料	6,500		
通信費	87,244		
保険料	96,480		
印刷費	72,413		
荷造運賃発送費	12,737		
会議費	29,282		
支払い手数料	102,784		
備品費	760,852		
雑費	39,645		
その他経費計			5,312,093
管理費計			10,520,093
経常費用計			
当期経常増減額			
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
雑損失			
経常外費用計			
当期正味財産増減額			1,800,388
前期繰越正味財産額			-517,178
次期繰越正味財産額			1,283,210